

SIFA ニュース



NO. 109

2021年度 夏号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

事務局長が替わりました

新事務局長から着任のご挨拶。



皆さん、こんにちは。7月1日から事務局長としてお世話になることになりました吉崎美穂です。かつて関わらせていただいた国際交流・多文化共生事業に再度携わることができ、大変うれしく思います。様々な文化にふれあえる機会をいただいたことに感謝し、日々努力してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

内容

[お知らせ]

- 新事務局長のあいさつ
- 夏休みの宿題支援教室のボランティア募集中
- 夏のオンライン交流会にむけて研修実施中
- 外国料理のご紹介
- 鈴鹿市の外国人の状況
- 国が作成した日本語のコンテンツ

[報告]

- 日本語ボランティア養成講座を開催しました
- 日本語入門講座を開催しました

外国につながる児童の夏休みの宿題支援教室のボランティア募集中!

SIFA ニュース、春号でもご案内いたしましたが、外国につながる児童の夏休みの宿題支援教室のボランティアを募集しています。夏休みの宿題は、保護者に相談しながら取り組むものがあったり、丸つけ等はお家でするようになっていますが、外国籍の保護者にとっては言葉の問題と経験がない事から子どもの思いに答えられないことが課題となっています。

鈴鹿で成長し、将来まちの構成員になる子どもたちがしっかりと学べる環境をつくっていくために皆さまのご協力をお願いいたします。

申込みは、右のQRコードよりお願いします。→ → → → → →



【夏休みの宿題支援教室】

と き：8月2日～8月31日の平日（8/9、12-16、23を除く）9:00-12:00

※1日からご参加いただけます。

ところ：鈴鹿市立飯野小学校

【ボランティア説明会】

と き：7月25日(日) 14:30～16:00

ところ：鈴鹿市文化会館 第一研修室

内 容：活動の流れ・支援内容、全体スケジュール、
交通費についての説明、新型コロナウイルス対策について等



夏のオンライン交流会にむけて研修実施中！！

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない状況の中、長年続く両市派遣生による交流の歩みを止めないよう、今年は、実際に10名の参加生を募り、研修も行って、夏休みに2回のオンライン交流会をすることにしました。

中学生5名・高校生5名の参加生達は、全部で5回の研修を行います。

研修では、英語の自己紹介の練習。鈴鹿のローカルな人気スポットを動画に合わせて英語で紹介する練習の他、アメリカ全50州を言えるようになろう！と目標を定め、覚え歌を歌いながら、各州の名前と場所を白地図を使って覚えています。(全部言えるようになったらカッコいいですよ！うまく覚えられるかなあ〜??)

今回、参加生の中には、市内のブラジル人学校EASに通う生徒もおり、研修中も、英語と日本語の2本立てでやっています。こうした環境は生徒にとっても貴重な機会であり、研修を通して多文化理解が進むことを嬉しく感じております。ベルフォンテン市との交流日は、7月30日と8月8日です。7月30日は、ベルフォンテン市役所と繋ぎ、8月8日は、学生同士の交流をします。

日頃学校で学んでいる英語からほんの少しだけ踏み出し、友好都市のみなさんと楽しくコミュニケーションがとれるよう、最初の第一歩になると良いと思っています。次回の報告をお楽しみにして下さい♪



外国料理のご紹介

魚介類料理の「セビツェ」には色々な国の味がありますが、今回は以前講座を行ったメキシコバージョンを紹介いたします。是非作ってみてください。

材料(4人分):

新鮮な魚介類 (マグロ・サーモン)	400~500g
レモン	4ヶ
トマト(さいの目切り)	2ヶ
(新)玉ねぎ	1ヶ
ピーマン(みじん切り)	1ヶ
黒こしょう(あらびき)	少々
オリーブオイル	大さじ1.5
コリアンダー	適宜
塩	適宜

作り方:

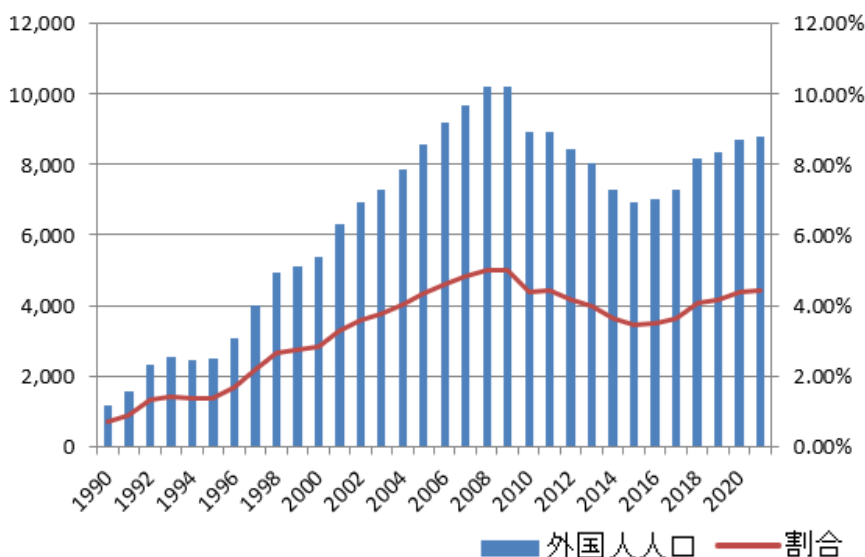
- ① 魚介をぶつ切りにしボウルかポリ袋に入れ、そこにレモンのしぼり汁をかける。(魚介は、レモン汁に完全に浸す。) 1時間冷蔵庫で冷やす。
- ② トマト、玉ねぎ、ピーマン、コリアンダーを刻み、塩・黒こしょう・オリーブオイルを入れてボウルで優しく混ぜ、冷やしておく。



鈴鹿市の外国人の状況

各年3月末の鈴鹿市の外国人人口推移

	国名	R3.5月末	前年比
1	ブラジル	3,182	+4
2	ペルー	1,167	-9
3	中国・台湾	967	-57
4	ベトナム	773	+69
5	フィリピン	611	-7
6	韓国・朝鮮	536	-7
7	インドネシア	387	-29
8	タイ	257	-23
9	スリランカ	240	+18
10	ボリビア	211	+13
	総数	8,758	-16



鈴鹿市の外国人人口は、前年に比べて少し減少しましたが、国別に見ていくと、ベトナムが大きく増加した一方で、中国・台湾籍の減少が目立ちます。在留資格別で見ると、永住者と特定技能の方が増加し、技能実習が減少しています。統計からは、技能実習から特定技能への切り替えや各在留資格から永住の取得が進んでおり、中長期の滞在・定住化の傾向が見て取れます。

また、三重県の外国人人口は、2020年12月現在54,854人となっており、県内の外国人の約1/6が鈴鹿市在住です。同時期の鈴鹿市の外国人住民の割合は、4.40%で、県割合は3.05%であるため集住地域であることがわかります。

参考: 三重県 R2外国人住民数調査結果詳細資料 <https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0011500302.htm>

国が作成した日本語のコンテンツ

2019年に在留資格「特定技能」ができたことと、2020年6月に閣議決定された日本語教育推進に関する法律により、外国人受け入れのための環境整備が少しずつ進んでいます。

その中でも、日本語学習とやさしい日本語については、各省庁でコンテンツの開発が進んでいますので紹介します。右のQRコードよりアクセスしてみてください。

★文化庁

「つながる広がる日本語での暮らし」
日本語でのコミュニケーションを場面ごとに学ぶ初級者向けのオンライン講座です。



★経済産業省

「日本人社員も外国籍社員も 職場でのミスコミュニケーションを考える」
企業内での外国人社員とのミスコミュニケーション回避についての動画教材です。



★出入国在留管理庁・文化庁

「在留支援のための やさしい日本語ガイドライン」
やさしい日本語の書き言葉に焦点を当てたガイドライン(動画あり)です。



日本語ボランティア養成講座を開催しました

5月15日から6月12日まで5週にわたり、鈴鹿市文化会館にて開催しました。

1週目は、市 市民対話課の國分さんより外国人受け入れ状況や施策の説明があり、本協会から外国人の生活や市内の日本語教室の紹介、外国人住民の日本語学習に対する意見、活動のやりがいなどを伝えました。その後、日本語で日本語を学ぶ外国人の気持ちを理解するためネパール語だけでネパール語を学ぶ講座を鈴鹿大学のブサル・クリスナさんにいただきました。

2週目からは、日本語を学ぶ外国人の学習について、名詞・形容詞・動詞・助詞を一つずつとりあげながら、日本語教育ではどのように習得しているか学びました。

私たちが学校の国語で学習した「上二段活用」「下二段活用」、「5段活用」、「さ行・か行変格活用」が日本語教育では1グループ、2グループ、3グループに分類されていることや助詞をイメージしやすいように簡単な図を書いて伝えるなど、考えたり手を動かしたりしながら学びました。

他にも、副教材についてどんなものがあるか考えたり、それを使ってどんな学習につなげるかを考える活動も行い、参加者の皆さんに大好評でした。

また、講座の後半では模擬授業にも取り組みました。準備や授業展開を考えるなどの実践や他の方の授業を見たりすることで、沢山の学びを得られたとの意見もいただきました。

これからも地域の日本語学習環境を充実させていくために本講座は続けていく予定です。ご興味のある方は、是非、次回ご参加ください。



日本語入門講座を開催しました

4月1日から7月15日までの木曜日に日本語教室を開催しました。今回は、ひらがな・カタカナの読み書きができない方でも学習できる入門レベルで、9名の参加がありました。参加者は、ブラジル、ペルー、インドの方がおり、在日年数も1年～10年以上と様々です。

本講座は、あいさつ、自己紹介から始まって、ファストフードの注文、病院、買い物など生活の場面ごとに学んでいます。

ゴミ出しについての学習では、男性の学習者しか自分の地域のごみの日を把握しておらず、家庭での役割分担が明確に出来ていて女性は把握していないことが分かりました。学習を通して、参加者の生活が見えてきて面白いです。

9月2日からは、一歩進んだ初級コースを全12回で開催予定です。お近くの外国人で日本語を学びたい方がいらっしゃいましたら、教えてあげてください。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会(SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸1-17-5 別館第3 TEL:059-383-0724 FAX:059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp

URL: <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>